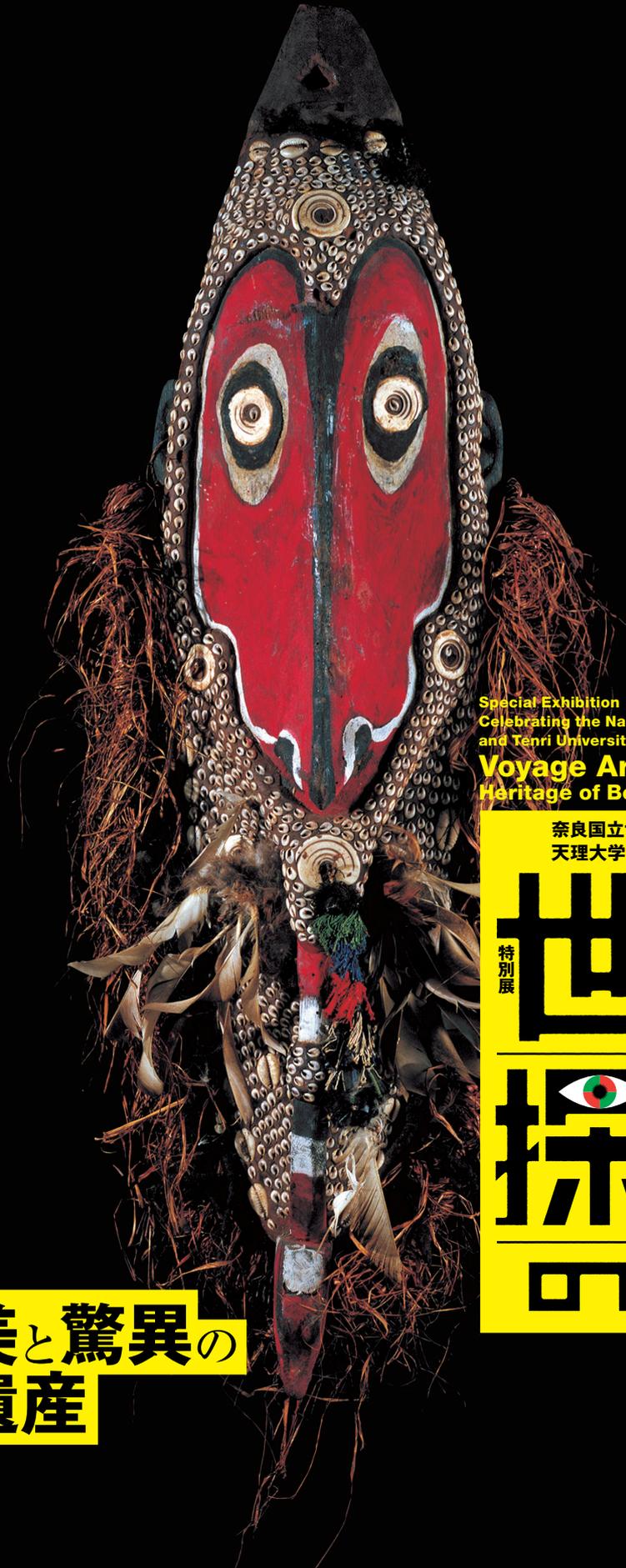


ゾクゾクが、とまらない。



Special Exhibition
Celebrating the Nara National Museum's 130th Anniversary
and Tenri University's 100th Anniversary
**Voyage Around the World:
Heritage of Beauty and Wonder**

奈良国立博物館開館130年
天理大学創立100周年記念

特別展
世界探検の旅
せかい たんけんたび

**美と驚異の
遺産**

鎌倉用仮面「マニ」
バフアニューギニア、ニューギニア島
20世紀中頃
天理大学附属天理参考館蔵

2025.
7.26—9.23
[土] [火・祝]

開館時間：午前9時30分～午後5時(毎週土曜日および8月5日(火)～8月15日(金)は午後7時まで)※入館は閉館の30分前まで
休館日：7月28日(月)、8月4日(月)、8月18日(月)、8月25日(月)、9月1日(月)、9月8日(月)、9月16日(火)
主催：奈良国立博物館、天理大学附属天理参考館、日本経済新聞社、テレビ大阪
特別支援：DMG森精機
協力：仏教美術協会、日本香堂

 **奈良国立博物館**
NARA NATIONAL MUSEUM

〒630-8213 奈良市登大路町50番地 <https://www.narahaku.go.jp/>
問い合わせ 050-5542-8600(ハローダイヤル)
展覧会公式サイト <https://art.nikkei.com/tanken/>



ごあいさつ

本展は、世界中から集められた天理大学附属天理参考館の30万点にのぼる膨大なコレクションの中から厳選した作品群と、奈良国立博物館所蔵の仏教美術作品などを組み合わせ、人類の約6000年に及ぶ歴史を探求する展覧会です。

「文明の交差する世界」、「神々と摩訶不思議な世界」、「追憶の20世紀」の3つの章で構成し、考古資料や民族資料を中心に約220件を展示します。中には、世界でも天理参考館のみが所蔵する稀少な作品や初公開の作品も含まれます。

時空を超えた世界探検の旅にどうぞご期待ください。



2025年3月

主催者

天理大学附属天理参考館とは

1930年(昭和5年)創立。人々を理解するには世界各地の歴史、風俗、習慣、実生活を知る必要があります。そのため、美術品や骨董価値のあるものではなく、むしろその土地、そのところの風習や生活がわかる手垢にまみれたような資料を探し求めたのが始まりでした。

ようらん
揺籃期における資料収集はほとんどがアジアの民族資料に限られていました。考古資料はやや遅れて収集が始まります。その後、資料は急速に増強されていきます。世界各地からの海外民族資料、日本民俗資料、そして切符などの交通文化資料が新たに集められました。

参考館は現在、量・質ともに国内有数のコレクションを形成しています。いながらにして世界旅行を体験できるほどです。今日の国際社会に必要とされる文化の多様性を認め、異文化理解に貢献することを役目とし、これらの資料の本当の意味や文化、歴史の情報を発信しています。



本展のみどころ



①奈良国立博物館、初の民族文化展!

仏教美術の優品を誇る「奈良国立博物館」と、30万点を超える考古資料・民族資料を有する「天理大学附属天理参考館」との初のコラボレーション展です。天理大学附属天理参考館の貴重なコレクションを中心に、奈良国立博物館の仏教美術作品なども併せて展示し、ゾクゾクするほどおもしろい展覧会を開催します!



②出品件数約220件!

時空を超えた世界探検の旅へいざないます。

6000年に及ぶ人類の歴史を約220件の資料で紹介する展覧会。ユーラシア大陸の東西文明交流、世界各地の信仰と死後の世界観、今は失われた20世紀の生活文化など、幅広い視点で世界を探求します。天理大学附属天理参考館のみが所蔵する稀少な作品や初公開の資料も多数。しかも、展示品はすべて写真撮影OKです!



③奈良に「世界」がやってくる!

摩訶不思議な空間演出でみなさまをお迎えします。

大阪・関西万博の会期中に開催される本展でも、世界の文化を体感できるよう、現地感のある趣向を凝らした展示空間を創出します。大人から子どもまで楽しめる“旅するような博物館体験”にどうぞご期待ください。「摩訶不思議アワー」と題した、通常展示とは異なる照明・デジタル演出の時間も設ける予定です(p.12参照)。

「世界探検展」の歩き方

(本展への応援コメント)

石川直樹氏(写真家)



ひとつひとつの資料が、どこでどのように使われてきたのか。それを想像するだけでも、ずっといられる。

**数奇な運命をたどって
目の前に集まった
品々は、
未知の彼方へと向かう
旅への端緒となる。**

**神が、精霊が、聖獣が、
異界への入り口が、**

世界各地から奈良へ集う。畏怖すべき存在を観たい、得たいという究極の希求から、人類は不可視の驚異を具現化し、仮面によってその身に宿す営みを重ねてきた。信仰と生活が一体化した信仰具・呪具の数々は、神霊と自分たちの本来の関係を教えてくれるはずだ。「世界探検の旅-美と驚異の遺産-」展は、

我々自らの内面への旅になるだろう。靈魂舟「ブラモン」で、祖霊の世界へ行こうではないか!



©月刊ムー

スーパーミステリー・マガジン「ムー」編集部

**時間旅行と
世界旅行を
同時に楽しめる展覧会!**

単なる「鑑賞」に留まらず、美と迫力と獨創性に満ちた品々から、地球上で生きてきた人々の生活の息吹を「体感」できます。

この時間こそが奇跡で、
歴史の節目でもある。

奇跡とか歴史とか言われる品々が、一堂に集まる2か月。



中江有里氏(俳優・作家・歌手)

三浦しをん氏(小説家)



第1章

文明の 交差する 世界の

今から数千年前、ユーラシア大陸のいくつかの場所で文明が誕生しました。それらの文明は、独自の文字や文化を発達させ、交易や争いを通じて、お互いに影響を与え合うようになりました。本章では、オリエントおよび中国に焦点を当て、文明が誕生してからシルクロードを介した東西交流に至るまでを中心に概観します。

第1節「東西文明のおこり」では、イラン、イラク、ギリシア、中国などの地域で発達した文明について紹介します。教科書でもおなじみの楔形文字の粘土板文書やギリシア陶器、中国の青銅器などを通して、文明の背景にある高度な技術力をご覧ください。

第2節「東西文明の交流」では、シルクロードの交易網によって行き来する東西の文化を見ていきます。ローマのガラスは正倉院にも到達し、またイスラーム陶器には唐三彩の影響が伺えるなど、東西交流は人類の歴史に様々な足跡を残しました。

インドでおこった仏教は中国を經由し、シルクロード東の終着点である日本にまで到達しました。第3節「ひろがる祈りの世界」では、奈良国立博物館・天理参考館双方の収蔵作品を通して、仏教伝来の道を辿ります。

第4節「文明遺跡の発掘」では、日本隊が調査を行ったイスラエルのテル・ゼロール遺跡出土資料のほか、シュリーマンによるティリンス遺跡調査報告書の原画を展示いたします。



①
グデア頭像
イラク
紀元前2100年頃
天理大学附属天理参考館蔵

4000年前の
シュメール王の彫像。
「誰にも破壊できないように」
硬い閃緑岩で製作した。



②
黒陶高脚杯
中国
龍山文化(紀元前3000～前2000年頃)
天理大学附属天理参考館蔵

驚異の薄さと軽さ。
卵の殻のごとき黒陶は
新石器時代陶芸の粋。

③
緑松石象嵌青銅内玉戈
中国
殷(紀元前13～前11世紀)
天理大学附属天理参考館蔵

玉の刃に、
トルコ石をちりばめた
龍の形。
殷代の技術を結集した
至高の宝器。



④
鍍金銀帝王狩獵文皿
伝イラン
7世紀
天理大学附属天理参考館蔵

描かれたのは
ペルシアの王か。
法隆寺にも伝わる
「獅子狩文」と同じ
モチーフの銀皿。

尖っているには
理由がある。
墳墓を護る力の造形。



⑤
加彩鎮墓獸

中国
唐(8世紀)
天理大学附属天理参考館蔵

釈迦の真の姿を
あらわすという
伝説の像の写し。
釈迦に会いたい!
切なる祈りが
つくりあげた、
究極の似姿。



⑥
釈迦如来立像(清凉寺式)

日本
鎌倉時代 文永10年(1273)
奈良国立博物館蔵

インドの神聖な霊鳥、
迦楼羅が日本に舞い降りた。
毒蛇をも食らうその力で、
仏の教えを守り伝える。



⑦
二十八部衆立像のうち迦楼羅王

日本
鎌倉時代(13世紀)
奈良国立博物館蔵

正倉院宝物のルーツ 奈良博に集結!



カットガラス碗
伝イラン
サーサーン朝(5~6世紀)
天理大学附属天理参考館蔵

カットガラス碗とは、正倉院宝物では「白瑠璃碗」の名でよく知られているもので、碗の外面を覆うように、円形の切子(カット)を多数施した、煌びやかなガラス器です。サーサーン朝ペルシアで大量につくられ輸出されたもので、シルクロードを経て、東は中国・日本にまでもたらされました。非常に品質がよく、国家レベルで生産が管理されていたとみられます。この度は、凸凹が比較的少なめの切子碗の他に、円形切子部分を突出するように削り出した浮出切子碗の2種計4点を展示します。

と きんぎんはつきよくちようはい
鍍金銀八曲長杯
伝イラン
サーサーン朝(6~7世紀)
天理大学附属天理参考館蔵

八曲長杯とは多曲杯の一種で、口縁が八つの曲線で構成された花弁形を呈する浅い杯です。展示する2点はともに、銀板をうち出して成形したもの。更に銀に鍍金し、豪華さも加えています。内面・外面には、ゾロアスター教の世界観や裸体婦人像、枝葉をくわえた水禽、バルメット文や亀甲文など興味深い多様なものが表現されています。我が国の正倉院にも、金銅八曲長杯や緑瑠璃十二曲長杯などの多曲杯が伝わっており、東西文化交流の一端を偲ぶことができます。



「ギリシア考古学の父」直筆を間近で!

ティリンス遺跡調査報告書原画
シュリーマン直筆入り
19世紀
天理大学附属天理参考館蔵



自叙伝『古代への情熱』で有名なハインリヒ・シュリーマンは、1884年から1885年にかけて、ギリシアのティリンス遺跡で発掘調査を行いました。天理参考館は、1886年に公刊された同遺跡発掘調査報告書の原画を19点所蔵しています。図版に書き込まれた手書き文字の筆跡鑑定の結果、シュリーマンの直筆であることが判明しています。また、図版には木版、多色刷り石版、銅版という、当時としては最新の印刷技術が用いられています。書籍として、美術品として、そして文化財としても貴重なこれらの原画の中から、本展では厳選した3点を展示いたします。



第2章

神々と 摩訶不思議な 世界

摩訶不思議な世界へようこそ。神々や祖霊あるいは精霊などの霊的存在に対して畏敬の念を抱き、死後の世界を想像することは、我々人類に共通していると言えます。一方で、信仰の対象や死生観は多様で、とりわけ死の扱いは地域によって様相が大きく異なります。このように違いはありながらも、世界と人々がいかにして創られ今に至るかを語る神話、舞踊や演劇あるいは音楽をともなう祭として形式化され、霊的存在のために行われる儀礼、そして神懸かり的な手段で種々の現象を引き起こそうとする呪術は、それぞれの地域社会をまとめ、社会的緊張を和らげる役割を果たしていると思われてきました。

第2章では、ニューギニア、インドネシア、台湾、インド、古代エジプト、そしてアンデスと、東から西へと周遊するように、世界各地の信仰と死後の世界に関わる品々を紹介し、見るものを惹きつける造形をご覧ください。

⑧ 精霊仮面「コヴァヴェ」
バブアニューギニア、ニューギニア島
20世紀前半
天理大学附属天理参考館蔵

豚の靈魂を食べて
生きる!?!
山に棲む精霊。



⑩ 葬儀用飾り貫「マランガン」
バブアニューギニア、ニューアイルランド島
20世紀前半
天理大学附属天理参考館蔵

国内では天理参考館だけ。
現地にも今は無き、
巨大な追善供養用彫刻物。



「マイ」は氏族の先祖?
森の精霊?
男性秘密結社への
入社式で用いる
正体不明の仮面。

⑨ 儀礼用仮面「マイ」
バブアニューギニア、ニューギニア島
20世紀中頃
天理大学附属天理参考館蔵



⑪ 儀礼劇チャロナランの仮面
魔女ランダ
インドネシア、バリ島
20世紀前半
天理大学附属天理参考館蔵

寡婦になり、
バリの太后。
髪には人毛を使い、
頭と首から垂らした紐は人の腸を表す。

⑫ 儀礼劇チャロナランの仮面
聖獣バロン・ケケット
インドネシア、バリ島
20世紀前半
天理大学附属天理参考館蔵

バリの善なるものの象徴。
至高神の唯一絶対性、
万物の根源を示すヒンドゥーの聖音、
そして善と悪の言の葉を
バリ文字で舌に記す。



⑬ 影絵芝居ワヤン・クリットの人形 道化ドヨッ
インドネシア、ジャワ島
20世紀前半
天理大学附属天理参考館蔵

ジャワの英雄パンジに仕える道化。
道化はイスラーム九聖人の
一人によって
新たに創り出された
キャラクター。

⑭ 首狩り勇者の上衣「ルクス・カハ」
台湾
19世紀後半～20世紀初頭
天理大学附属天理参考館蔵

首狩り成功の勇者の凱旋衣。
素材の貝殻ビーズは原始貨幣で、
これで土地の売買ができた。



⑮ じいんかけぬの
寺院掛布「カラムカリ」
インド南部
20世紀中頃
天理大学附属天理参考館蔵

幅560cm!
ヒンドゥー神話が描かれた
巨大寺院掛布。



ミイラをくるんだ状態の
カラー復元写真パネルと
ともに展示!!

⑯ はねししゅう
ミイラ包み 羽根刺繍マント
ペルー南海岸
ワリ文化(7世紀~11世紀)

⑰ つれおりのぬい
ミイラ包み 綴織布
ペルー南海岸
ワリ文化(7世紀~11世紀)
天理大学附属天理参考館蔵

⑱ さいもんおがたつぼ
彩文大型壺

ペルー中東部
20世紀
天理大学附属天理参考館蔵

ペルーのアマゾンに暮らす
先住民シピボ族の
儀礼体験を写した幾何学文。

初公開



ゾクゾクと新知見!

ジャワの王家が所有していた影絵芝居ワヤン・クリットの人形

天理大学附属天理参考館が所蔵しているジャワ島の影絵芝居ワヤン・クリットの人形約130点については、これまで詳細な情報がほとんど得られていませんでした。そのため、専門家とともに再調査を行うことになりました。その結果、1840年に制作され、ジャワのスラカルタ王宮で上演する際に使用されていた人形が13点含まれていることを確認しました。さらにこれらは、インド伝来のマハーバーラタやラーマヤナではなく、ジャワ発祥のパンジ物語を上演するための人形であり、そのうち2点が主人公のパンジ王子、そして右の資料は姿形だけでなく名前まで変えたパンジ王子であることが分かりました。これまで20世紀前半に製作されたと推定されていた資料の中に、それより1世紀も遡る年に製作され、王宮での上演に使用されていたことが特定できる資料を発見できたことは、これらの資料群の価値を見直すきっかけになりました。



影絵芝居ワヤン・クリットの人形
インドネシア、ジャワ島
1840年
天理大学附属天理参考館蔵

きんせいとうしよく じんめんがた
金製頭飾 人面形

ボリビア
インカ帝国(15~16世紀)
天理大学附属天理参考館蔵

インカ帝国の人面形金製頭飾

本例は、天理大学附属天理参考館で古代アンデスの金製品として登録されていた資料です。昨年まで、時代ならびに出土地域が厳密に特定されていませんでしたが、類型調査の結果、インカ帝国(1430年頃~1532年)の支配下にあったボリビアのものであることが分かりました。これらの類型は現地の研究者によってティティカカ湖沿岸で製作されたことが指摘されており、ボリビアにおいてもわずか4点確認されているにとどまります。天理参考館所蔵の2点をあわせても6点しか確認されていない非常に貴重な資料です。さらに、並行して行った蛍光X線分析によって、天理参考館所蔵の2点は当該地域特有の金合金(金を主成分とし銀と銅が含まれる)であり、その中でも金の純度が非常に高いことが明らかになりました。また、その組成はインカ帝国以前にティティカカ湖南東部を中心に栄えたティワナク文化の金製品と近似するものであることから、類型調査の妥当性を補強する結果となりました。

初公開



第3章



⑱ 戦士の荣誉礼冠
カナダ
20世紀中頃
天理大学附属天理参考館蔵

誇り高き
リーダーの証。

追憶の20世紀

21世紀に入り、早や四半世紀が経とうとしています。これまで私たちが快適で、効率の良い暮らしを追い求めてきた結果、世の中から姿を消していったモノは少なくありません。また、グローバル化の波が世界の隅々にまで押し寄せ、国々処々による生活文化の多様性も失われつつあります。アナログで手間の掛かるモノばかりに囲まれていた20世紀の日常生活は、今と比べれば確かに不便で、非効率的だったのかも知れません。しかし、人々の記憶の中にある20世紀は、遠ざかっていくにつれて、得も言われぬ懐かしさや、温もりを私たちに呼び起こさせてくれます。

第3章では、20世紀における北米、エジプト、中国の地域色豊かな文化を紹介し、ひとつひとつのモノに込められた先人たちの知恵と手技をご覧ください。



⑳ 水挿し
エジプト
20世紀中頃
天理大学附属天理参考館蔵

砂塵を清める
水の器。

㉑ 北京の看板(効果看板)
眼薬屋
中国
20世紀前半
天理大学附属天理参考館蔵

一目でわかる!?
眼薬屋の看板。



北京の看板(模型看板)
キセル・喫煙具屋
中国
20世紀前半
天理大学附属天理参考館蔵

北京の看板(実物看板)
帽子屋
中国
20世紀前半
天理大学附属天理参考館蔵

北京のビックリ看板大集合!

かつて中国の北京周辺で使用されていた看板には、文字をほとんど描かないものがありました。これらは「幌子(ホァンツ)」と呼ばれます。20世紀前半頃まで、このような幌子は北京周辺ではごく当たり前の存在でした。しかし20世紀中頃以降になると幌子は徐々に街頭から姿を消し、現在ではほとんど見られなくなりました。当館は、1940年頃に現地で収集した幌子を約130点所蔵しています。幌子のまとまったコレクションは、日本国内はもちろん、中国大陸でも未だ知られていません。今回はその所蔵品の中から、優品を厳選して展示します。



展覧会名

奈良国立博物館開館130年
天理大学創立100周年記念特別展
世界探検の旅
—美と驚異の遺産—

Special Exhibition
Celebrating the Nara National Museum's 130th Anniversary
and Tenri University's 100th Anniversary
Voyage Around the World:
Heritage of Beauty and Wonder

会期
会場

2025年7月26日(土)～9月23日(火・祝)
奈良国立博物館 東・西新館(〒630-8213 奈良市登大路町50番地)

開館時間
休館日

午前9時30分～午後5時(毎週土曜日および8月5日(火)～8月15日(金)は午後7時まで)※入館は閉館の30分前まで
7月28日(月)、8月4日(月)、8月18日(月)、8月25日(月)、9月1日(月)、9月8日(月)、9月16日(火)

主催
特別支援
協力

奈良国立博物館、天理大学附属天理参考館、日本経済新聞社、テレビ大阪
DMG森精機
仏教美術協会、日本香堂

お問い合わせ

050-5542-8600(ハローダイヤル)

展覧会公式サイト

<https://art.nikkei.com/tanken/>



観覧料(税込)

一般:1,800円(1,600円)、高大生1,300円(1,100円)

※()内は、前売りおよび20名以上の団体料金。2025年5月21日(水) 10:00～7月25日(金) 23:59までの販売。

※高大生の方は学生証をお持ちください。

※中学生以下無料。

※障害者手帳またはミライロID(スマートフォン向け障害者手帳アプリ)をお持ちの方(介護者1名を含む)、

奈良博メンバーシップカード会員の方(1回目及び2回目の観覧)、

賛助会会員(奈良博、東博(シルバー会員を除く)、九博)、清風会会員(京博)、特別支援者は無料。

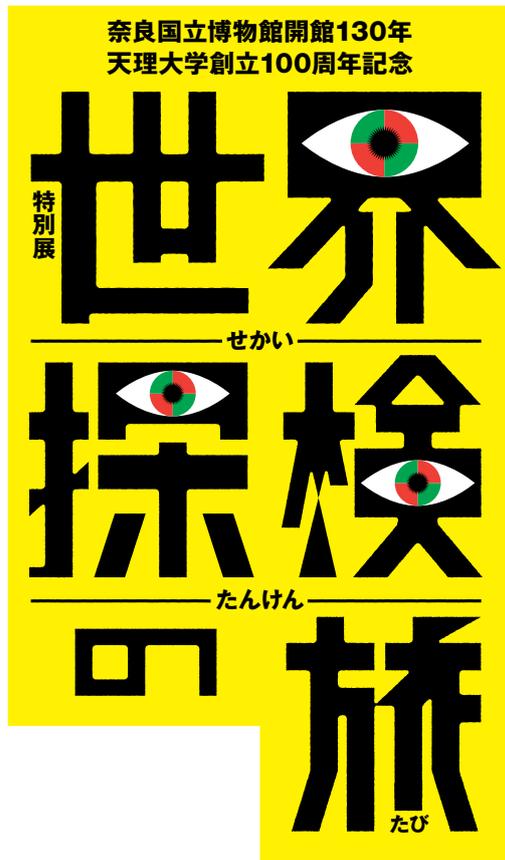
※本展の観覧券で、名品展(仏像館・青銅器館)もご覧になれます。

※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ会員(学生)の方は400円、

同(教職員)の方は1,700円で当日券をお求めいただけます。観覧券売場にて学生証または職員証をご提示ください。

最新情報は展覧会公式サイトなどでご確認ください。

本展は他会場への巡回はありません。





音声ガイド

俳優の大沢たかおさんが 音声ガイドナビゲーターに就任

音声ガイドナビゲーターを務める大沢たかおです。今回お話をいただいて、展示作品を通じて「時空を超えた世界探検の旅」が出来る事にワクワクしています。僕は旅が好きですが、世界を回ってみると多様な民族や文明、文化があることに驚かされる事があります。音声ガイドでは、こうした広い世界から集められた作品の魅力を皆様に紹介できればと思っておりますので、是非ご期待ください。

大沢たかお・俳優

東京都出身。
ファッションモデルとして活躍したのち、94年にTVドラマ「君といた夏」で俳優デビュー。
96年から98年にかけて放送されたドキュメンタリードラマ「劇的紀行 深夜特急」では、沢木耕太郎役を熱演。
その後、数多くのドラマ・映画に出演し、近年の出演作「キングダム 大將軍の帰還」で
2度目の日本アカデミー賞優秀助演男優賞を受賞した。
シリーズ続編映画「沈黙の艦隊 北極海大作戦」の公開が控えている。

オリジナルグッズ

摩訶不思議なオリジナルグッズの開発が進行中!

ポストカードやノートといった定番商品から、精霊の仮面作品をモチーフにしたフェイスバック、スーパーミステリー・マガジン「ムー」とのコラボ商品まで、さまざまなオリジナルグッズの開発が進行中! どうぞお楽しみに。



フェイスバック



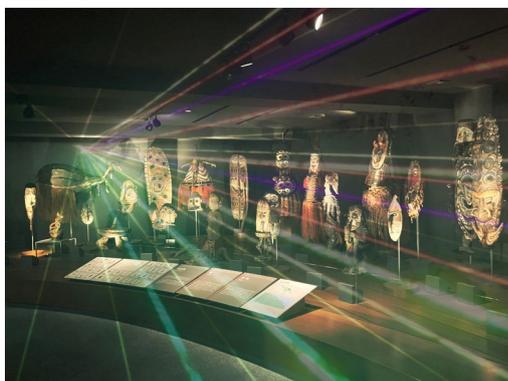
ノート

写真はイメージです。
実際の商品と異なる場合があります。

摩訶不思議アワー

日時限定で「摩訶不思議アワー」と題した、通常の鑑賞環境とは異なる没入感のある特別展示を行います。
夏の特別企画、どうぞお楽しみに!

※実施日時などイベントの詳細は、
今後展覧会公式サイトでご案内いたします。



写真はイメージです。実際の演出と異なる場合があります。



イベント

記念講演会

第1回 「文明の交差する世界」
(8月9日[土]) 巽 善信氏・江 介也氏(いずれも天理参考館)・内藤 航(奈良国立博物館)

第2回 「神々と摩訶不思議な世界」
(9月6日[土]) 早坂 文吉氏・荒田 恵氏・間舎 裕生氏(いずれも天理参考館)

第3回 「追憶の20世紀」
(9月20日[土]) 梅谷 昭範氏・中尾 徳仁氏(同)

会場:奈良国立博物館 講堂
定員:各180名(事前申込抽選制)

※聴講無料(展覧会観覧券等の提示は不要です)。
※申し込み方法などの詳細は
奈良国立博物館ウェブサイトでご案内します。

《報道関係者お問い合わせ先》

「世界探検の旅—美と驚異の遺産—」
PR事務局(TMオフィス内)
担当:馬場・永井・西坂

MOBILE 090-6065-0063(馬場)
090-5667-3041(永井)
TEL 050-1807-2919
FAX 050-1722-9032
EMAIL tanken@tm-office.co.jp